

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
13時39分58秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006010300	家庭児童相談課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00255	子育て短期支援事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	10402	01	03	02	01	03	04	01	子育て短期支援事業（児童福祉総務費）
所属長	門田 俊雄			担当者（内線）	西佛 順慈（2566）				
根拠法令等	児童福祉法、吹田市子育て短期支援事業実施要綱								
事業開始年度	平成6年度	直近の改正		平成27年度					
改正内容	吹田市子育て短期支援事業実施要綱において、当該事業を利用する児童の保護者が負担する費用についてより明確に規定。								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	家庭における養育が一時的に困難となる児童		
目標	児童福祉施設において一定期間、児童の養育を行う		
結果	児童及びその家庭の福祉の増進を図る		
事業概要	保護者の仕事、疾病、出産その他の理由により家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合に、一定期間、児童養護施設や乳児院で養育を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪西本願寺常照園
		委託先②	松柏学園
		委託先③	大阪水上隣保館乳児院
		主な委託内容	宿泊または通所による児童の養育
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	241	324	241	386	451
人件費職員数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,043	1,975	2,013	2,013	1,987
総事業費(A+B)	2,284	2,299	2,254	2,399	2,438
特定財源(C)	160	179	160	276	300
国	80	80	80	148	150
府	80	99	80	128	150
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,124	2,120	2,094	2,123	2,138
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,124	2,120	2,094	2,123	2,138
財源計(C+D)	2,284	2,299	2,254	2,399	2,438

所属	家庭児童相談課
事務事業番号	00255

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延利用日数	人	目標値	41.00	51.00	66.00
			実績値	51.00	66.00	
			達成度(%)	124.40	129.40	
目標値の積算方法	前年の利用実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	45.08	36.35	
			一般財源(千円)	41.57	32.17	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	保護者が事情により家庭における児童の養育が一時的に困難な場合に、児童福祉施設で一時的に養育を行い育児負担を軽減する。	達成状況	保護者の養育負担を一時的に軽減することができた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定	
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である(理由:事業規模、受益者負担ともに近隣市と同等の水準であり、事業費総額の増加は、本事業の利用者数の増加に伴うものであるためやむを得ない。)</p> <p>【指標数値の評価】 本事業は保護者の仕事や疾病等の理由により家庭における養育が困難となる児童に対し、児童福祉施設において一時的に養育を行うことで、児童およびその家庭の福祉の増進を図ることを目的としており、その利用状況は年々増加しており、増大しているニーズに対して、何とかサービスを提供できている状況である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の評価や指標数値の評価から一定目標とする効果が出ていると言える。保護者の子育ての負担を軽減し、育児ストレスを限り、家庭の福祉の増進を図る本事業の必要性は今後も増えるものと考え。</p>	

事務事業分析シート

所属名	家庭児童相談課	事業名	子育て短期支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00255				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	家庭児童相談課	事務事業番号	00255
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は保護者の疾病等緊急な事由により、家庭における養育が困難となった児童に対し、児童福祉施設において一時的に養育を行うもので、その妥当性、有効性は高く、またコストの観点も事業費、受益者負担ともに近隣市と比較し、同等の水準となっていることから適正と考えています。</p> <p>今後の課題としては、利用者の受入れが施設の空き状況に左右されるため、他のサービスの利用も含め、利用枠の拡大などニーズへの適切な対応に努める必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月13日
11時48分19秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006010300	家庭児童相談課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00256	子ども見守り家庭訪問事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	31	配慮を必要とする家庭への支援／児童虐待の防止							
予算事業	10403	01	03	02	01	03	05	01	子ども見守り家庭訪問事業（児童福祉総務費）
所属長	門田 俊雄			担当者（内線）西佛 順慈（2566）					
根拠法令等	児童福祉法								
事業開始年度	平成18年度	直近の改正	平成21年度						
改正内容	市町村に子育て支援事業の一環として乳児家庭全戸家庭訪問事業を行うよう努力義務を課す。								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	生後4か月児までの乳児がいる家庭		
目標	地域での見守りを実施することで、子育てに適した社会環境を作る。		
結果	子どもを見守る地域のつながりを作り、児童虐待の未然防止を図る。		
事業概要	民生・児童委員協議会と連携し、民生・児童委員、主任児童委員が生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、地域の子育て支援に関する情報提供を行ったり、子育てについての悩みのある家庭を専門的な機関へと繋いでいくことで、地域からの孤立を防ぐ。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	274	194	274	215	273
人件費職員数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	2,043	1,975	2,013	1,956	1,987
総事業費(A+B)	2,317	2,169	2,287	2,171	2,260
特定財源(C)	182	155	182	162	182
国	91	91	91	91	91
府	91	64	91	71	91
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,135	2,014	2,105	2,009	2,078
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,135	2,014	2,105	2,009	2,078
財源計(C+D)	2,317	2,169	2,287	2,171	2,260

所属	家庭児童相談課
事務事業番号	00256

2頁
平成30年 7月13日
11時48分19秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	生後4か月までの乳児がいる世帯への訪問数	件	目標値	3,453.00	3,427.00	3,208.00
			実績値	3,427.00	3,208.00	
			達成度(%)	99.20	93.60	
目標値の積算方法	前年度出生数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.63	0.68	
			一般財源(千円)	0.59	0.63	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	家庭訪問したなかで、保護者等と面談できた割合	%	目標値	70.00	70.00	70.00
			実績値	56.80	57.50	
			達成度(%)	81.10	82.10	
目標値の積算方法	訪問世帯全体の70%で面談できるようにする	単位当たりコスト	総事業費(千円)	38.19	37.76	
			一般財源(千円)	35.46	34.94	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
地域の子育て支援に関する情報提供や、養育困難な家庭を早期に見出すことで、子育て家庭の孤立を防止、虐待の未然防止を図る。	達成状況 対象となる家庭を全戸訪問し面談・情報提供を行い、孤立化防止が図られている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費等は適切である。(理由:本事業は民生・児童委員協議会与連携し、実施しているため。)</p> <p>【指標数値の評価】 本事業は、児童福祉法に基づく乳児家庭全戸訪問事業に位置付け、民生・児童委員協議会与連携して実施していますが、家庭訪問における面談率が伸び悩んでいる。</p> <p>【今後の方向性】 民生・児童委員、主任児童委員が各家庭を個別に訪問することで、支援を必要とする家庭が早期発見できるとともに、子育て家庭にとっては地域とつながるきっかけになります。さらに地域で子育て家庭を見守り、支援することで孤立を防止、虐待予防にもつながることから、今後は面談率の向上や訪問時不在家庭へのフォロー方法を検討しながら継続していくことが妥当である。</p>

事務事業分析シート

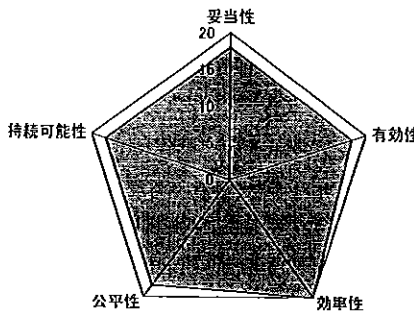
所属名	家庭児童相談課	事業名	子ども見守り家庭訪問事業	事業区分	その他
事務事業番号	00256				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>生後4か月未満の乳児を養育している家庭に対して、民生・児童委員、主任児童委員が自宅訪問し、子育てに関する情報提供や、育児における相談に対応することで養育者の子育て負担感を軽減し、支援を必要とする家庭の早期発見につながる本事業は妥当性、有効性ともに高いと考えます。また地域の民生・児童委員、主任児童委員が訪問することで地域とのつながりも密接になると考えます。今後の課題としては、面談率の向上を図るとともに、訪問時不在家庭へのフォローの方策の検討が必要であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月17日
11時41分17秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006010300	家庭児童相談課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00257	育児支援家庭訪問事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	31	配慮を必要とする家庭への支援／児童虐待の防止							
予算事業	10404	01	03	02	01	03	06	01	育児支援家庭訪問事業（児童福祉総務費）
所属長	門田 俊雄				担当者（内線）西佛 順慈（2566）				
根拠法令等	児童福祉法								
事業開始年度	平成18年	直近の改正	平成21年						
改正内容	市町村に子育て支援事業の一環として養育支援訪問事業を行うよう努力義務を課す。								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他	
対象	児童の養育に支援が必要な保護者	
目標	子育てに関する相談、助言等の支援を行い、養育が適切に行われるようにする。	
結果	子育て家庭の孤立化を防ぎ、児童虐待の未然防止を図る。	
事業概要	保育士や保健師等の資格を有するボランティアの育児支援家庭訪問員が子育てに悩んでいる家庭を訪問し、一定期間、養育に関する相談や育児スキルの助言などの支援を行う。	
実施方法	■ 直接実施	
	□ 委託又は一部委託	委託先①
		委託先②
		委託先③
	主な委託内容	
	□ 補助金・負担金	交付先①
交付先②		
交付先③		
□ その他	内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	420	356	420	264	420
人件費職員数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	2,043	1,975	2,013	1,956	1,987
総事業費(A+B)	2,463	2,331	2,433	2,220	2,407
特定財源(C)	280	258	280	496	280
国	140	140	140	140	140
府	140	118	140	356	140
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,183	2,073	2,153	1,724	2,127
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,183	2,073	2,153	1,724	2,127
財源計(C+D)	2,463	2,331	2,433	2,220	2,407

所属	家庭児童相談課
事務事業番号	00257

2頁
平成30年 7月17日
11時41分17秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延べ訪問回数	回	目標値	375.00	375.00	375.00
			実績値	251.00	178.00	
			達成度(%)	66.90	47.50	
目標値の積算方法	子ども・子育て支援事業計画に基づく	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9.29	12.47	
			一般財源(千円)	8.26	9.69	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 居宅において直接、育児支援を行うことで、子育ての負担感や不安を軽減し、健やかな子どもの成長を見守る。	達成状況 虐待の未然防止、重症化の予防が図られた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:本事業は子育て不安が強く、養育に支援が必要な家庭に対し保育士等の資格を有する育児支援家庭訪問員が有償ボランティアとして交通費等最低限を支給し活動している為。)</p> <p>【指標数値の評価】 本事業は、児童福祉法に基づく養育支援訪問事業に位置付け、実施しているが、訪問実績が達成できていないのが現状である。</p> <p>【今後の方向性】 育児支援家庭訪問員が訪問し、直接支援や助言を行うことで、育児ストレスの軽減や養育スキルの向上、虐待の未然防止が図られる。今後も関係機関と連携し、潜在している需要の掘り起こしを行っていくとともに、育児支援家庭訪問員の担い手の確保を図りながら、継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	家庭児童相談課	事業名	育児支援家庭訪問事業	事業区分	その他
事務事業番号	00257				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は子どもの養育に不安を抱える家庭を育児支援家庭訪問員が訪問し、保護者に対し直接、助言や指導を行うことで、子育てに対する不安の除去やスキル向上を図ること目的に実施しており、その妥当性、有効性は高く評価できるものと考えています。今後は潜在するニーズの掘り起こしを図るとともに、その多様なニーズに対応できるよう、育児支援家庭訪問員の確保とその専門性のスキルの向上を図る必要があると考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月17日
11時39分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006010300	家庭児童相談課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00259	児童虐待防止対策事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	31	配慮を必要とする家庭への支援／児童虐待の防止							
予算事業	10406	01	03	02	01	04	01	01	児童虐待防止対策事業（児童福祉総務費）
所属長	門田 俊雄			担当者（内線）西佛 順慈（2566）					
根拠法令等	子どもの権利条約、児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律								
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	平成21年度						
改正内容	要保護児童対策地域協議会の支援対象を要支援児童や特定妊婦まで拡大。								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	18歳未満の児童とその家族、及び妊婦		
目標	家庭、学校、関係機関、地域が連携して、児童虐待の防止に努める。		
結果	児童の権利養護、福祉の増進。		
事業概要	児童虐待に関する相談や通告への対応を行うとともに、吹田市児童虐待防止ネットワーク会議の事務局として、子どもに関わる機関と連携して児童虐待の早期発見、重症化防止に努める。また、子どもの人権を守る意識を高め、児童虐待防止についての理解を深めるため、講演会や街頭での啓発物品の配布など啓発活動を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,677	4,593	4,962	4,569	3,677
人件費職員数(人)	6.50	6.50	8.25	8.25	9.25
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	53,105	51,350	66,429	64,540	73,492
総事業費(A+B)	57,782	55,943	71,391	69,109	77,169
特定財源(C)	402	391	438	574	342
国	121	121	141	178	168
府	265	256	285	302	168
その他	16	14	12	94	6
市負担(D)	57,380	55,552	70,953	68,535	76,827
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	57,380	55,552	70,953	68,535	76,827
財源計(C+D)	57,782	55,943	71,391	69,109	77,169

所属	家庭児童相談課
事務事業番号	00259

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	相談対応件数	件	目標値	1,053.00	1,037.00	1,138.00
			実績値	1,037.00	1,138.00	
			達成度(%)	98.50	109.70	
目標値の積算方法	過去の実績に基づく	単位当たりコスト	総事業費(千円)	53.95	60.73	
			一般財源(千円)	53.57	60.22	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	個別ケース会議開催回数	回	目標値	124.00	128.00	130.00
			実績値	128.00	130.00	
			達成度(%)	103.20	101.60	
目標値の積算方法	過去の実績に基づく	単位当たりコスト	総事業費(千円)	437.05	531.61	
			一般財源(千円)	434.00	527.19	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	児童虐待による重大事故の発生件数	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	児童の死亡事例を防ぐ	単位当たりコスト	総事業費(千円)	55,943.00	69,109.00	
			一般財源(千円)	55,552.00	68,535.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		%	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:相談件数が増加しているものの、事業費総額は例年並みであるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 社会状況の変化に伴い、相談件数が増加し、その内容も複雑化している状況の中で、児童虐待相談の内容から虐待リスクをアセスメントし、助言、指導、警告等、支援方針に沿って適切に対応することで、未然防止、再発防止に努めているが、平成29年度は、重大事故の発生が1件あった。</p> <p>【今後の方向性】 関係機関等との連携を強化しながら、虐待発生のリスクが高い家庭を把握し、重症化防止に努め、さらに虐待防止の取組への関心を広げるため、講演会やWリボンマークの普及など啓発活動にも積極的に取組ながら、継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

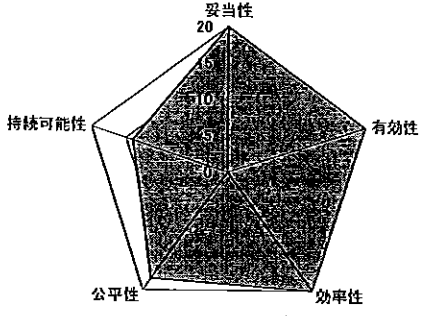
所属名	家庭児童相談課	事業名	児童虐待防止対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	00259				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>子供を取り巻く社会や家庭環境の変化に伴い、児童虐待の件数は増加し、その内容も複雑化しています。こうした状況の中、吹田市児童虐待防止ネットワーク会議を中心に関係機関が連携し、総合的な視点で課題解決を図っています。今後も増え続ける虐待相談に対し、相談機関としての体制強化を行うとともに、支援を必要とする児童の早期発見、早期対応のため関係機関との更なる連携強化を図る必要があると考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
11時46分56秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006010300	家庭児童相談課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01412	親支援プログラム事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	31	配慮を必要とする家庭への支援／児童虐待の防止							
予算事業	11618	01	03	02	01	04	02	01	親支援プログラム事業（児童福祉総務費）
所属長	門田 俊雄			担当者（内線）西佛 順慈（2566）					
根拠法令等	吹田市親支援プログラム実施要項								
事業開始年度	平成27年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	2歳から12歳までの子どもの親で、子育てに悩む親		
目標	子育てに自信を持ち楽しく前向きに取り組めるようにする		
結果	児童虐待の未然防止		
事業概要	子育て中の親が、子育てスキルの習得や子育てのさまざまな困難な局面において自ら解決していく力を培う参加体験型学習プログラム「トリプルP（前向き子育てプログラム）」を実施。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	546	520	529	495	535
人件費職員数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,043	1,975	2,013	2,013	1,987
総事業費(A+B)	2,589	2,495	2,542	2,508	2,522
特定財源(C)	546	520	529	494	535
国	0	0	0	0	0
府	546	520	529	494	535
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,043	1,975	2,013	2,014	1,987
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,043	1,975	2,013	2,014	1,987
財源計(C+D)	2,589	2,495	2,542	2,508	2,522

所属	家庭児童相談課
事務事業番号	01412

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	参加者数	人	目標値	24.00	24.00	24.00
			実績値	19.00	17.00	
			達成度(%)	79.20	70.80	
目標値の積算方法	募集定員	単位当たりコスト	総事業費(千円)	131.32	147.53	
			一般財源(千円)	103.95	118.47	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	プログラムの有効性	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	100.00	100.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	有効性の認められた参加者の比率	単位当たりコスト	総事業費(千円)	24.95	25.08	
			一般財源(千円)	19.75	20.14	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:子育て中の親が子育てに対し自信を持ち、前向きに取り組めるよう体験型の学習プログラムで専門性の高い内容となっているとともに、その間の保育に関しても有償ボランティアで対応していることから、その報償費としては妥当である。)</p> <p>【指標数値の評価】 受講後アンケートでは、すべての参加者から、子育てスキルの向上や自信向上につながったと受講に対する効果が認められました。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の評価、指標数値の評価を踏まえ、今後も受講者ニーズを充足し、より有効性の高いメニューへの見直しを行いながら、継続していくことが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	家庭児童相談課	事業名	親支援プログラム事業	事業区分	その他
事務事業番号	01412				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	家庭児童相談課	事務事業番号	01412
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3. 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は子育て中の親が子育てに自信を持ち、前向きに取り組めるよう、体験型の学習プログラムを取り入れた講座であり、その参加者のプログラムへの評価は高く、満足度も高い結果が得られています。しかし子育て中の親が置かれている状況により、その課題も様々であるため、今後は多様化するニーズを的確にとらえ、より効果的なプログラムへの見直しの検討も行いながら、実施していくことが求められると考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月17日
11時48分54秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006010300	家庭児童相談課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01781	子どもの生活支援事業
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり
細節	10	子育てを支援し合えるまちづくり
予算事業	11806	01 03 02 01 04 03 01 子どもの生活支援事業（児童福祉総務費）
所属長	門田俊雄	担当者（内線）竹田陽一（2566）
根拠法令等	子どもの貧困対策の推進に関する法律、子供の貧困対策に関する大綱	
事業開始年度	平成28年度	直近の改正 なし
改正内容	なし	
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）	

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	18歳未満の児童とその家族		
目標	子供たちの将来が生まれ育った環境によって左右されることなく、すべての吹田の子供たちが夢と希望を持って成長していける地域社会の実現を目指す。		
結果	子供の貧困を解消し、貧困の連鎖を断ち切る。		
事業概要	子供の貧困対策に関して本市の基本的な考え方をまとめた「吹田市子供の夢・未来応援施策基本方針」に基づき、子供の貧困対策を推進する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	7,028	302	357	163
人件費職員数(人)	0.00	-1.00	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	0	7,900	4,026	3,912	3,973
総事業費(A+B)	0	14,928	4,328	4,269	4,136
特定財源(C)	0	7,022	302	356	0
国	0	0	0	0	0
府	0	7,022	302	356	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	7,906	4,026	3,913	4,136
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	7,906	4,026	3,913	4,136
財源計(C+D)	0	14,928	4,328	4,269	4,136

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	子供の貧困対策に関するワーキングを開催する。	回	目標値	2.00	4.00	3.00
			実績値	2.00	4.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	7,464.00	1,067.25	
			一般財源(千円)	3,953.00	978.25	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	子供の貧困に関する研修を開催する。	回	目標値	0.00	0.00	1.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 「子どもの生活に関する実態調査報告書」を作成し、子供の貧困対策に関する本市の基本的な考え方をまとめた「吹田市子供の夢・未来応援施策基本方針」を策定した。	達成状況 本方針から、職員が子供の貧困を正しく理解し意識しながら業務に取り組むことで、問題の早期発見や速やかな支援に繋がっている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】 事業費は適正である。(理由:本事業における事業費は冊子作成にかかる印刷製本費が大きく占めており、その事業費は適正に執行している為。)</p> <p>【指標数値の評価】 ワーキングチームを設置し、計画通りにワーキングを開催し、子供の貧困対策に向けた取組を検討している。</p> <p>【今後の方向性】 今後「吹田市子供の夢・未来応援施策基本方針」のもと、全庁的に子供の貧困問題に対して共通認識を持ち、子供の貧困対策を推進していくために、引き続き「子供の貧困対策に関するワーキングチーム」を設置し、取組を継続していくことが妥当。</p>

事務事業分析シート

所属名	家庭児童相談課	事業名	子どもの生活支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	01781				

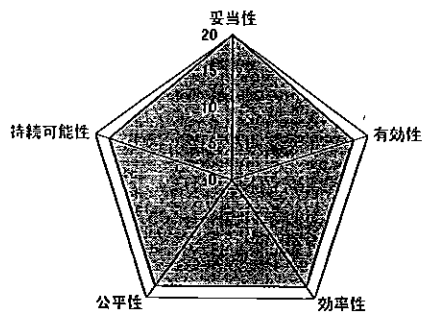
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は子供の貧困問題の対策事業であり、本市では関係機関からなるワーキングチームを設置し、その課題への対策の検討を進めています。子供の貧困問題は経済的な困窮だけでなく、子供の健全な育成に必要とされる人的資源や社会的資源の不足も含んでおり、多角的な視点で施策・事業を検討し、対策を講じる必要があります。そのために、「吹田市子供の夢・未来応援施策基本方針」に基づき、子供に関する施策・事業を行う関係部局が連携を進めるとともに、まずはすべての職員が「子供の貧困」を正しく理解し、共通認識を持つ必要があると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--